

5 感受性対策（ワクチン接種）

5-1 免疫がない集団だと爆発的に流行します

ワクチン接種は、感染症対策の3原則における、**感受性対策**にあたります。免疫を持っていない状態（感受性のある状態）を解消する方法です。感染症にかかると、その病原体に対する免疫ができ、免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなります。また、かかったとしても軽症になります。こうした感染症に対する免疫を強くするために、ワクチンを接種します。

新型コロナウイルス感染症のように新しいウイルスには、免疫を持っている人がいなかったため世界的な流行になってしまいました。

わが国では、2021年2月の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、ワクチン接種が開始されています。

障害福祉サービス事業所・施設の利用者には、基礎疾患などでワクチン接種ができない方もいらっしゃいます。利用者を感染から守り、障害福祉サービスの継続的な利用ができることは、利用者やその家族の生活を支えるために重要です。周囲の人がワクチン接種を済ませることは、利用者を感染から守ることにつながります。



5-2 予防接種歴の管理

予防接種は新型コロナウイルス感染症だけではなく、感染症や予防対策に関心が高まっている今だからこそ、予防接種歴や健康状態の把握を保護者に働きかけておくと、日常の健康管理が全般に行き届きやすくなります。

ワクチン接種の情報は、豊島区のホームページをご覧ください。さらに、厚生労働省の「新型コロナワクチンQ&A」では、チャットで質問項目を選択すると回答が示されるようになっていきます。3回目の追加接種など、ワクチン接種を取り巻く状況は日々更新されていますので、正しい情報にアップデートして、一人ひとりが予防接種を理解して、自らの意思で接種の判断することが大切です。

Q ワクチン、予防接種とは何ですか。

- A 予防接種とは、感染症の原因となる病原体に対する免疫ができる体の仕組みを使って、病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

一般に、感染症にかかると、原因となる病原体(ウイルスや細菌など)に対する「免疫」(抵抗力)ができます。免疫ができることで、その感染症に再びかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。

予防接種とは、このような体の仕組みを使って病気に対する免疫をつけたり、免疫を強くするために、ワクチンを接種することをいいます。

Q 日本で接種が進められている新型コロナワクチンにはどのような効果(発症予防、持続期間等)がありますか。

- A 日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、感染や重症化を予防する効果も確認されています。時間の経過とともに感染予防効果や発症予防効果が徐々に低下する可能性はありますが、重症化予防効果は比較的高く保たれていると報告されています。

Q mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンはワクチンとして遺伝情報を人体に投与するという一方で、将来の身体への異変や将来持つ予定の子どもへの影響を懸念しています。

- A mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンで注射するmRNAは短期間で分解されていきます。人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではありません。

引用：厚生労働省新型コロナワクチンQ&A

教えて!! 新型コロナウイルスワクチン

どんな流れ? 効果は? 副反応は? こんな場合接種できるの?

接種1回目

このワクチンを1回接種しても人の遺伝子に影響が出ることはありません。

接種2回目

3週間あけて2回目の接種。2回目も同じ場所に打つことに同意なし。

接種後

感染対策は今まで同様継続を。

接種当日

- 接種後 15分 仮顔や顔面などのよくあるアレルギーの方は15分待機 大丈夫
- アレルギーなし15分待機 あり30分待機
- アレルギーあり30分

接種後当日

- 入浴OK
- 激しい運動は避ける
- 過度なアルコール摂取は控える

接種後

1回目で副反応が出ても2回目接種は可能。

アナフィラキシーなど重い症状でなければ、2回目接種は可能です。必ずも次も同じ症状が出るわけではありません。また、副反応予防のためにあらかじめ併用薬などが服用することは推奨されていません。

ワクチンの接種に関する不安や、副反応についての相談など

豊島区新型コロナウイルスワクチンコールセンター

TEL: **0120-567-153** (9時～18時 平日・土日・祝日)

FAX: **03-3987-4110**

接種の予約・手続きの方法など
各市町村接種相談窓口

接種に関する個別の事前相談
かかりつけ医

厚生労働省
新型コロナウイルス
についてのQ&A

こひナビ
新型コロナウイルス感染症や
そのワクチンに関する正確な
情報を知りたい方へ
(国語が中心になって提供)

「コロフクんの相談室」
チャットボット
ワクチンに関するよくある質問に答える
LINEのチャットボットを利用した接種
相談窓口が中心になって運営

ワクチンの効果って?

ファイザー社/ビオンテック社

- 重症化予防効果あり
- 高齢者への有効性も高い
- 人にうつす可能性を減らす効果が期待されている

発症予防効果 95%

発症するリスクが **1/20**

100人中95人に防ぐという意味ではなく、接種した人の発症率が接種しなかった人の発症率より95%少ないという意味。

100人中95人に防ぐという意味ではなく、接種した人の発症率が接種しなかった人の発症率より95%少ないという意味。

100人中95人に防ぐという意味ではなく、接種した人の発症率が接種しなかった人の発症率より95%少ないという意味。

いつから効くの?

1回目を接種して2週間経ってから効果が出始めます。2回目を接種して7日目以降から十分な効果ができるとされています。

なお、一度新型コロナウイルスに感染した人も、ワクチンに比べて得られた免疫は弱い可能性があるため、接種することが望ましいです。

十分な効果は接種後7日目以降

1回目 2回目 接種後7日目以降

感染対策は続ける

ワクチンの副反応って?



副反応はワクチン接種が原因で起こる反応のことです。頻度は日本人が特に多いということはありません。1回目より2回目接種後により強く起こりやすいですが、十分な免疫をつけるには2回目接種が望ましいとされています。また、このワクチンを接種しても人の遺伝子に影響が出ることはありません。

- 主な副反応**
- 接種時の痛み
 - だるさ
 - 頭痛
 - 筋肉痛
 - 発熱
 - 接種部位の腫れ
 - 関節痛
 - 吐き気

いつ出る? 接種した1~2日後に副反応が出現することがありますがほとんども3日以内に回復します。特に2回目接種後は発熱を伴った副反応が起きやすいので、接種当日と翌日は、可能な限り予定を控えておくことをおすすめします。

どんな症状? 主に接種部位の痛み・だるさ・頭痛・筋肉痛・発熱などがあり、発熱以外に悪寒や関節痛が出る場合も。接種直後の痛みはそれほど強くありません。発熱時は解熱剤を使っても構いません(ワクチンの効果は下がりません)。解熱剤はアセトアミノフェンを含むものがおすすめ。

体調が回復しない場合は?

咳やのどの痛み、息切れなどの症状が見られたら上気道炎(風邪)や新型コロナウイルス感染症等の可能性も。(これらがワクチンの副反応で通常見られないため)

こんな時は医療機関に相談

- ✓ 接種後2日以上経っても解熱しない
- ✓ 症状が重い

アナフィラキシーって?

簡単に言うと「強いアレルギー反応」のことです。ワクチン接種などの後、短時間で以下の2つ以上の症状が出現する場合は「アナフィラキシー」といいます。新型コロナウイルスワクチンで起こる頻度は20万接種に1回で、70%が15分以内、90%が30分以内に起こるとされます。

- 皮膚・粘膜症状(発疹、発赤、かゆみ)
- 消化器症状(腹痛、嘔吐)
- 循環器症状(血圧低下・意識障害)
- 呼吸器症状(呼吸が苦しい、呼吸をするときにゼイゼイする など)

アナフィラキシーショックって?

アナフィラキシーのうち血圧低下や意識レベル低下を伴うもの。

アナフィラキシーは治療できます

治療により回復し、後遺症は残りません。



		接種	こんな場合接種できるの?
当日の発熱	×	×	当日、明らかに発熱(37.5℃以上)している場合、接種不可。
重い急性疾患	×	×	ひどい風邪症状や胃腸炎症状など、急性疾患の強い症状がある場合、接種不可。
他のワクチンを2週間以内に接種	×	×	インフルエンザなど他のワクチンを2週間以内に接種している場合、接種不可。(ワクチン接種後も、2週間後他のワクチンを接種することはできません。)
アレルギー	○	○	食物(卵を含む)、ペット・ハウスダストのアレルギーや、経口薬へのアレルギーがある場合でも接種は可能。
花粉症	○	○	花粉症でも接種は可能。
基礎疾患	○	○	心臓、腎臓、肝臓、血液疾患などの基礎疾患のある方はコロナで重症化しやすい。不安な場合はかかりつけ医に相談を。
妊娠中	○	相談の上	相談の上可能。ただし妊娠12週までは控える。妊娠中は最早で重症化のリスクがあり、接種を控える。不安な場合はかかりつけ医に相談を。お腹の中の赤ちゃんに悪影響が出たり、将来妊娠しにくくなるとは考えられておらず、海外からもそのような報告はない。
授乳中	○	○	現時点で特殊の懸念が認められているわけではなく海外でも接種の対象。不安な場合はかかりつけ医に相談を。
16才未満	×	×	ワクチンは16才以上で承認されており、現在は接種対象ではないが、将来的には対象年齢が広がる可能性も。
薬を内服中	○	○	内服中の薬により接種できないということはない。不安な場合はかかりつけ医に相談を。
…抗凝固薬	○	○	抗凝固薬(血液をさらさらにする薬)を飲んでいる場合は2分以上接種した箇所をしっかり押さえる。
手術後	○	○	直後でなければ基本的に可能。投薬中の方など、かかりつけ医と相談を。
1回目の接種後副反応が出た	○	○	アナフィラキシーなど重い症状でなければ、強い腫れ・熱などの反応があっても、2回目は可能。同じ場所に接種可能。
1回目の接種後アナフィラキシー	×	×	アナフィラキシーとはワクチン接種などの後、短時間で以下の2つ以上の症状が出現すること。接種不可。 皮膚・粘膜症状(発疹、発赤、かゆみ) 呼吸器症状(呼吸が苦しい、呼吸をするときにゼイゼイする など) 循環器症状(血圧低下・意識障害) 消化器症状(腹痛、嘔吐)